



【刊夕日一十月八】
 定價 一月一元 三月三元 半年六元 一年十元
 廣告費 每日每行一圓 長期優待
 印刷部 東京市神田區大塚
 電話 三三六〇
 發行所 東京市神田區大塚
 電話 三三六〇

社會保護に就て (二)

辯護士 門傳清吾

鳥にしても相互に群れを成して居るが爲めに其の生活を維持することが出来る哺乳類にしても群居すると云ふことの爲めに其の生存を維持することが出来るのである、価値に偉大なる力があるものは必ずしも群居するものではない、割合に小なる群を成すに止まる、然らざるものは必ず群居して以て其の生命を維持して居るのである、群居は其の生命を維持するに足ると云ふことを脱いたのはヘッセルを以て始めとす。此の説はダーウソンの自然放任説に相對したものであつて自然世界は決して荒涼たるものではない、動物は各々社會的生活をなして其の間に於てミューテュアルエイドを爲しつゝあると云ふ美しい方面を見たのである。クロボトキは此の演説の筆記を讀んで痛く興味を感じ西比利亞に往いた後にも汎く動物に於て研究し動物セルやクロボトキの此の

観方にとすると自然世界は誠に友情の流露する麗して世界であるのである、友を呼び友を助け老たるを負若きを育くむ麗しい世界であるのである

常警文藝

- 朝顔の對をつらねたる垣かな 渡邊同鳴
- 膝を越す水の迅さや夕河原 垣かな
- 夕河原佛頭垂れてきゝます 繪屋の房にまつわり金象子
- 金象子投げてかゝげし手燭かな
- 木隙間の深さや金象子
- なげうちし秋の暗さや金象子
- 青蚊張の裾にまつわり金象子
- 打ち上げし水に面高揺れやます
- 園深く青蕩に立つ風冷やし
- 青蕩に山雨冷を來し寺寮かな

御待ち兼ねの別府淋薬が着荷致しました、リン病やコシケに苦まる、方は一日も早く試して全快のよろこびを見て下さい。
無効返金薬（二日のんでキ、メなき時）無効返金證
 岩里 **リン病別府淋薬** 服用者大好評
 別府温泉で名高い岩里家の家傳秘薬
 人迷はせの賣薬の多き中に別府市中濱（岩里天然堂大藥房發賣）のリン薬は古來家傳秘薬にして男女血ウミ痛、コシケ、消渴、二日で止り連服するも絶對胃腸障害なき名薬である、尙同業は責任ある速効薬にして二日内服効なき時は殘藥引替に全部返金す返金にして慢性悪性治らぬ人は七日のまれよ、申込次第新品送薬す
 淋病治療書數十頁の美本無代進呈
 藥價（急慢性）用（黒箱）一週分參圓
 （慢性頑固悪性用）赤箱一週分五圓
 古殿治町（電話四四四）
 一手特約店 **阿康藥舖**

久能木式石油コンロ
 ▲燃料經濟日本一 ▲今が需要最好期
 部分品附屬品修理修繕 平町 吉田藥舖
 御一報次第實物持參 城山 吉田藥舖

先づ夏健康には
 定評ある榮養價
 豊富なる鰻料理
 南町平館隣 **魚榮**
 電話四二四番

貸切の御用は
 料金低廉なる
磐城タクシー
 電話四五四番
 平驛前

防水完全でしかも輕快優秀な
レインコート

 を種々豊富に取揃へました
松屋
 座銀・東京

卅餘萬圓を バラまく

水道擴張起債認可で 課員總出の雀躍振り

平町が待ちあぐんで居た上水道擴張工事費起債は、昨談判中であつた遠藤助役から九日午後次田地方、富田理財兩局長の

條件付 内務省關係の擴張工事施工と共に許可された旨昨日午前六時同町水道部に通知あつた、是れが爲め日曜日に拘らず

失業も緩和される 人夫は一日平均 百卅人位を使用

平町水道擴張工事費の卅三萬五千六百五十圓のうち廿六七萬圓は鐵管セメント並に用地

買収代 等に當てられ六七萬圓は人夫賃となり夫々バラまかれるので不景氣の折柄一段の活氣を呈すに至るであらうが着工すれば一日五十人から二百人迄平均百卅人位の人夫を使用する事になるので失業救済にもならう材料の購入その他に相當の時日を要するから

多數の 人夫を使用

期間は昭和七年より同廿六年度に至ると更むること
一、償還財源にその他一般歳入を加ふ
付帯通牒
國庫補助確定収入なき場合は財産譲渡をなし又は土地賣却代をもつてこれを補充し縣補助確定収入

年増女を中心 告訴のイタチゴッコ

平町材木町ボール箱屋後藤ハル(三)は本年四月廿三日所有の道具類を擔保として同町南町五六古物商南田與三郎(四)から金百圓を借り受けたが其後其金を

支拂す 同町搔搔小路一二高橋憲太郎(五)の内縁の妻となつて擔保付きの道具類を同人方に持ち込んだので六月十九日與三郎は高橋方に至り「道具を寄こすか、金を返すか」と掛合中躍り出た憲太郎が與三郎を毆つて負傷せしめた爲め同人は憤り平署に暴行詐欺の告訴に及んだ所ハルも自分の道具を與三郎が

勝手に 持ち出さうとしたのだから強盗だと平署に訴へ出たので更に與三郎は再び平署に夫れは偽りも甚だしいと誣告の告訴を提起し九日告訴の勅ゴツコをやつて居るが年増女のハルを中心に裏面には複雑な事情が伏在して居る

なき場合は役場建築を繰延べその財源たる土地賣却代を振替へ補充すること認めせんとせざるにより一般財政に累をおよぼすが如きことなからしむるやう十分監督されたし尙地方貸付資金六萬五千圓は内定につき承認することとなすべきこと

國産品愛用と 國調の映畫

既報國産品愛用宣傳の活動寫眞會は元平商校庭に於て明十二日午後七時から開演の筈であるが同夜は國勢調査の趣旨宣傳の爲め同調査

明夜元平商に 既報國産品愛用宣傳の活動寫眞會は元平商校庭に於て明十二日午後七時から開演の筈であるが同夜は國勢調査の趣旨宣傳の爲め同調査

に關する映畫も上映すると
女の寢室を
覗き歩く男
平町新川町地内を九日夜運

腰提灯の自轉車 最も多く告發さるる

昨夜の無燈火取締
平警察署にては昨日午後七時半から同八時四十分迄管内一齊に無燈火取締りを行つたが

平町のみ にて違反として告發されたのは五十七件あり是れを分類すると自轉車四十三件、自動車五件、其他二件にて自轉車の無燈火が最も多い因に諸車の無燈火は道路法取締法違反に據つて告發されるのであるが其内で自轉車は一昨年から自轉車取締規則が發令され夫れに依ると「燈火は前面を

く女や娘達の寢室をのぞいてうろつき廻る男があるの、平署に引致取調べると双葉郡龍田村新妻勇一郎(三)と稱する精神病者と判明。

自轉車を 轢き壊して 逃げた運轉手

石城郡湯本町宇笠井大友ク、ラ方居住自動車業鈴木稻實方乙種自動車運轉手鈴木政雄(三)は去る九日午後五時十分頃長橋町仙台屋乾物店の前にて運轉中の自轉車を同郡警備隊大字上湯長屋宇梅ヶ平機械職工佐藤多七(四)の乗つて來た自轉車に衝突し自轉車を破壊せしめた儘平氣で運轉を續けたる爲め被害者多七は同人の自轉車の歸途を待ち受けて呼び止め平署に訴へ出た

湯本トンネル
愈よ起工式
既報湯本トンネル改修工事は明十二日午前十一時より舉行工事關係者四十餘名參集する筈

平町 人生
出生
△胡澤澤一、二、中村慶喜氏四男英男
△古銀治九一、神谷辰夫氏(二六) 福岡縣田川郡津野村有川コヤマ(二四)

平町 人生
出生
△胡澤澤一、二、中村慶喜氏四男英男
△古銀治九一、神谷辰夫氏(二六) 福岡縣田川郡津野村有川コヤマ(二四)

平町 人生
出生
△胡澤澤一、二、中村慶喜氏四男英男
△古銀治九一、神谷辰夫氏(二六) 福岡縣田川郡津野村有川コヤマ(二四)

平町 人生
出生
△胡澤澤一、二、中村慶喜氏四男英男
△古銀治九一、神谷辰夫氏(二六) 福岡縣田川郡津野村有川コヤマ(二四)

平越趣味 太公望は誰 數へ切れぬ程

「釣れまじか」など、昔は文王がそへ來たさうだがほんとの道樂でもなければこのスピード時の對角線に立つて一日中

水面と眺めつこと
はチト窮屈次第な事共でござる、だが、我こそはの太

常連 何處でも釣る
のは三森虎雄君を初め長橋の大阿久翁さん、南町の佐藤榮三郎君、水戸屋旅館兄弟松田平館主山本齒科醫柳町の浅田床屋さん城山の青山貞吉君等の面々その他

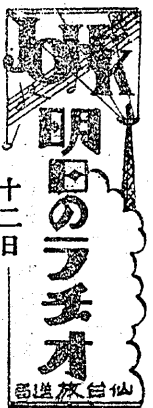
大勢 でもつれた釣り糸の如くこんからがつてしまふから此の位で止める

大勢 でもつれた釣り糸の如くこんからがつてしまふから此の位で止める

大勢 でもつれた釣り糸の如くこんからがつてしまふから此の位で止める

大勢 でもつれた釣り糸の如くこんからがつてしまふから此の位で止める

御用命通り一戸も
御用命通り一戸も
御用命通り一戸も



今晩は南よりの風曇り時々驟雨が降ります明日は北よりの風が吹く模様

△前六・二〇 夏期獨逸語講座 小田切良太郎
△前七・〇〇 英語會話速成講座 (第八講) エフ・エイチリー
△前九・一〇 料理献立「川湯魚片」魚の吸物
△前一〇・三〇 夏期婦人講座「女子公民教育」(二) 關口泰
△後〇・〇五 獨唱管絃樂 (獨唱) 櫻井京、東京ラヂオオーケストラ、(指揮) 奥山貞吉
△後六・〇〇 子供の時間 お話「ふしぎなドラリア

イス「テキスト十八頁 柚木卯馬
△後六・三〇 ことばの講座「文字」後藤朝太郎
△後七・二五 講演「東北古代史上の大問題 柳田村址」(一) 後藤宙外
△後八・〇〇 琵琶「川中島」上原錦英
△後八・三〇 地方俚語「三崎町連中」
△後九・〇〇 放送舞台劇「人間萬事金世中」尾上伊三郎、市川團右衛門一座
△後九・四〇 時報氣象通報番組預告

琵琶

川中島

上原錦英

かれに孫吳の術あらば われも龍虎の勇ありと うちつうたれつ十余年 人生朝露の身を以つて 四郡の土地を争ふは いと口惜しき次第なり われ此度の合戦は 武田信玄を追ひつめて 有無の勝負をなさばやと 揉みに揉んでぞ一萬余騎 信濃路深く打つて入り 妻女山にぞ陣を取る 信玄かくと聞くよりも 二萬余騎を引連れて 川中島へ馳せ向へ 敵の備を打ち見やり 諸將招ぎ言ひけるは 實に 此度の謙信が 振舞こそは 不敵なれ 自ら死地に入りたるは 必死の覚悟と見えたり いでこの上は敵軍を

一騎渡さず打つて取り 頃の望とげばやと 草木も眠る 犀川の 流れも暫し止るてふ 丑滿頃に其勢を 二手に内ち一軍を 妻女山に向はしめ 又一軍は川中島に 信玄自ら之を統へ 挟み打たんとはかりけり 早東空の雲の間を洩る 朝日の影さして 四方の朝霧 河風に散り行く 跡を見渡せば 旗差し物を押し立て 眞黒々の圓陣は 思ひも寄らぬ越後勢 進が如く退くが如く 廻り廻れる 駈引は 此れ謙信が極意なる 車掛り軍法ぞすは油断すな 破られぬ 我が旗本を固めまし 色めき立つてぞ見え ける 信玄少しもおどろかす 十二段の備へをなし 敵やおそしと云ふ間なく 必死を期せし越後勢 どの

と計りに突き入れれば 武由の前陣此所彼所に 火花を散らして防ぎ戦ふ 矢叫びの音 鯨波の聲 天地も崩れんばかりにて 打ちつ打たれつ 追つ追れつ 互に名ある 猛將勇士が 一歩も引かじと生死叫ぶ 死骸は積んで山をなし 血汐流るる千曲川 唐紅にぞ見えける 敵に鬼を入れさせな 死ねや死ねやと越後勢 新手を入替へ戦へば さしも武勇の武田勢も 次第次第に切り立てられ 九陣は既に破られて 早や信玄が旗本も手薄と見えし一刹那 遙かの方より只一き 砂塵を飛ばして 駈け来る ずは剛敵ぞと云間なく 馬は疾風の如くにも 近づく者を蹴立てつ、眞一文字に突き入る様 猛虎一聲 群羊を 驅つて平地を行く如く 面を向けん人もなし 勢こんだる謙信は 早や眼前に迫れども 老朽無双の信玄は 稲葉の末に吹く風の よそも動かぬ大盤石 同じ姿の武者七騎落着き拂つて接へけりものこらへぬ 謙信はこの有様をきつと見て 武者振り美事や武田殿 越後殿へのこぶしの牙えいざ 参るぞと大音聲 三尺二寸の長光を大上段に振りかざし あたり睨つたりけり 信玄静かに聲を上げ 不敵の小冠者推参ぞ 退れ退れと呼はれば 謙信かつと怒り立ち 豎子動かなくと云ふ間もなく さつと計りに切

り付るを はつしと受けし 軍扇は 二つになりてこの 大刀は 早や肩先に切り込みぬ あつと云ふ間もあらばこそ 續いて上ぐる三の 大刀 かさにかかりて睨み下げ 獅子吼の聲も凄まじく 什麼生か 是汁 糜生 香爐上一片の雪 答に鬼の毛のすきあらば 八幡座より 眞二つ ゆめ許さじと問ひつめたり 聲に應じておごそかに 安劍光裏弱身と答へし人の唇は かすかに笑を含みしを 心憎くや思ひけん につと笑つて言葉なく 駒の手綱を引返し かくを入るゝと思ひしが 馬は躍りて忽ちに 姿は見えずになりけり 来るに止むる者もなく 去るに追打つ人もなく 其の働きは 電か 流石武勇の名に誇る 甲州武士も口々に あれよと打ち守り あきれ果てたる計りなり 鞭聲 肅々 夜過河 曉見千兵 擁大牙 遺恨十年一劍を磨流星光底 逸長蛇 斯るところに武田勢 一萬餘騎は漸くに 妻女山より馳せ歸り 勝ち誇つたる敵軍の 後陣にどつと切つて入り 右往左往になぎ廻る 謙信これを打ち見やり 軍は最早これまでぞ 目指す敵に太刀付けて 日頃の恨みも今はなし いざ歸國せん者共と 手勢を整へ悠々と 越後を指して歸りけり (終り)

川湯魚片

佐藤つぎ發表
▽材料及び分量五人前
小鯉三尾、片栗粉五匁、
椎茸二三個、醬油二匁、
鹽味素少々葱(白根)ダ
ケ三四寸のもの二本
▽調理法 鱈は三枚に下し
皮を去り普通刺身の二倍位
の大きに斜にうすく切り
片栗粉を一面にまぶして置
きます、椎茸は石づきをと
り四ツ又は入つに切り鹽水
で洗つてから水につけて軟
かに致します、葱は斜に五
分位に切ります、鍋に三合
位の湯をわかし先づ椎茸を
入れ、魚肉を一片づづくつ
かぬ様に静かに入れて沸騰
しましたら、鹽醬油味の
素を入れ、葱を入れてさつ
と煮て器に盛りますお魚は
鱈に限らず白身ならば、で
も宜しうございます、又葱
の代りに季節によつて 荳
若荷三葉芹等も宜しうござ
います

看護婦急派の求めに應じます

平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

近來本礦隣山礦區を侵掘なし賠償金の請求を請ける如き悪宣傳をなす鼠賊的卑劣漢のある事を耳に致し候も全然事實無根なるは勿論要するに右の如きは多年某主を偽瞞し私復を肥し居り候悪漢が積悪の報にして解職となりしを恨み私怨に耐へず犬糞的行動を敢てする某醜類一派の策動に有之候條寧ろ彼等の内心を御洞察下されて罔然の輩と御一笑に附被下度本紙を通じて謹告仕り候
昭和五年八月十一日
杉山炭礦長 薄葉富保

近代的百パーセントの
尖端を切る此の逸品!
姉妹品
歌舞伎石ケン 半打五拾錢
一個拾錢
玉の肌石鹸
半打八十錢
一個十五錢
優雅な匂ひ素的な感じ
買ひ良き店
モリタヤへ
5丁目 電 353

時計の生命は修理にあり
迅速親切丁寧を
モットーとする
金光堂時計店へ
御用命を願います
平町 電七三六
八月十日頃より 電話一九五番に變更
器音著鏡眼屬金貴計

原齒科醫院

平町土橋通り電話三二番

最新式高級セタン型二臺購入

自動車通のお客様は
 斷然この車をお撰び致します
 高級車でも破格の料金です
 是非一度御試乗を!

マツザキタクシー
 電話番號は 獅子吼 四四九

原町齊藤病院

入院隨時 電話一二九番

内科 醫學博士 木村小太郎
 小兒科
 婦人科 院長 齋藤 齊
 ×光線科

耳鼻咽喉科専門

場所 (舊診療所裏通り)

合津醫院

平町仲田町(電話五五九)

高久病院

院長 醫學士 高久 忠
 副院長 新海醫學士 赤羽 清
 藥局長 齋藤 佐竹 雄

内科小兒科 外科花柳病科
 耳鼻咽喉科 レントゲン科

平町留町 電話五二三番

女寶圓

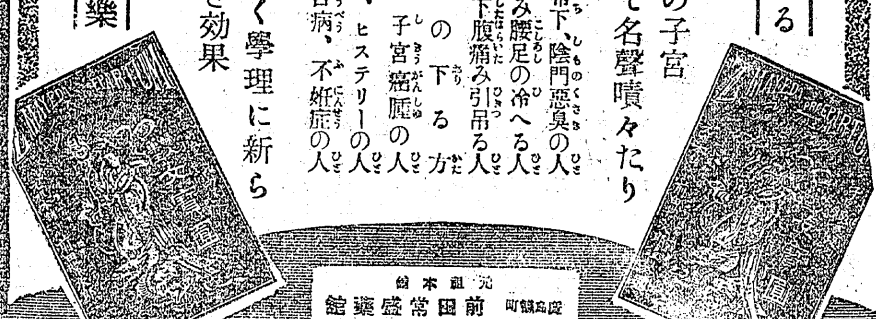
子宮病が根治する

元祖家傳の子宮坐藥として名聲噴々たり

白帶下、赤帶下、陰門惡臭の人
 子宮冷へ込み腰足の冷へる人
 月經不順、下腹痛久引る人
 こしけの下る方
 子宮出血、子宮癌腫の人
 逆上、頭痛、ヒステリーの人
 淋毒性子宮病、不妊症の人

歴史に古く學理に新しい著しき効果

子供の出来る名藥



館本血院 前田常盛藥館

暑中御伺

濱通り特約代理店 市原商店 平一丁目電話二四四番

福島縣平町材木町二番地

京屋洋服店

電話八二八番

梅毒 淋病

皮膚病 淋病 婦人病 腸胃病

門專

松村村

腸胃病 胃性病 腸性病

院醫科 (七〇一話電町南平)

全遊肺の

喫茶部新設

東洋趣味の粹として近代日本を壓倒して居る麻雀の俱樂部が平町に生れました支那の本場を偲ばしめる高雅な設備一切は整ひ三日早朝より開店し皆様の御出を御待ちして居ります、麻雀を知らなは現代人の大なるはじであるとまで云はれて居る折柄です

是非御遊びに御出でくださる様御願いたします、初めての方や御婦人方には丁寧に御教へいたします

平驛前(實川醫院裏)
 平麻雀俱樂部

耳鼻咽喉科専門

氣管食道科

平町南町(舊診療所向)電話一七〇番

大和田醫院

六ノロツト高級ボールペン

劃然と

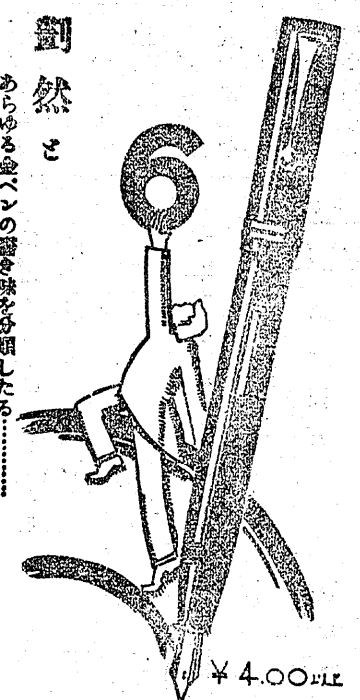
あらゆる金ペンの書き味を分類したる……

標準六種

國勢調査に 國産パイロット 標準六種ペン附
 五年間保證 金ペンの耐久 實に廿五年乃至卅年

平町研町公園前

特約店 佐々木商店
 電話二三三番



¥4.00以上

新件製木並品